

心豊かで夢を持ち、郷土を愛する人を育てる



Fantastic Life Fantastic Foundation

財団 広報

2020 No.18

Topics とびっくす

遠野市民センターバレエスタジオ第42回発表会

姉妹都市締結35周年記念サレルノ訪問市民ツアー ほか

インフォメーション

『遠野物語』発刊110周年記念イベント

222班傳苡玲 第45回記念公演市民の舞台遠野物語ファンタジー 座敷わらしの白い花

座敷わらしの白い花

台湾で初の高校生海外派遣交流事業を実施

踏み出せ！ ステージ 新たな世界へ



—The Legends of Tono—
遠野物語
110th
Anniversary 2020



35 遠野市民センターバレエスタジオ第42回発表会 人全員で演じ上げた華やかなステージ



▲バレエスタジオ生徒全員でフィナーレを飾る

11月24日(日)、遠野市民センターバレエスタジオ第42回発表会が開催されました。今年は、6歳から社会人までの生徒35人がステージを彩りました。第1部「小品集」では、クラシック音楽や古典作品から選んだ多彩な演目を披露。第2部「ディベルティスマン」は「くるみ割り人形」的一幕で、様々な国のお菓子が個性豊かな衣裳をまとって踊るステージを生徒全員で演じました。

映画「遠野物語」が繋いだ深い絆



▲サレルノ市長から歓迎を受けるツアー参加者

11月30日(土)から12月6日(金)までイタリア・サレルノ訪問市民ツアーが行われ、15名の市民らが参加しました。公式行事では同市庁舎を訪問し、ピンチェンゾ・ナポリ市長から温かい歓迎を受け、遠野親善大使のサルバトーレ・フォルテ氏も駆けつけました。ツアー終盤には、ローマ以南の世界遺産6か所を巡り、長い歴史によって彩られた同国の歴史・文化を体感することが出来ました。

令和元年度歳末助け合い演芸大会 国の言葉で歌われた日本の名曲



▲鮮やかな民族衣装をまとって踊る技能実習生

12月8日(日)、令和元年度歳末助け合い演芸大会が遠野市民センター大ホールで開催され、市内で技能実習生として生活しているミャンマー人女性8人が市民センター職員と合同で舞台上に立ち、大会を盛り上げました。色鮮やかな民族衣装に身を包み、テンポのよい民族舞踊と、ミャンマーでも大ヒットしたKiroroの名曲『未来へ』を両国の言葉で披露し、会場から温かい拍手を受けました。

元 第30回記念遠野少年少女合唱隊発表会 気いっばいの歌声が会場に響き渡る



▲ゲスト2人と一緒に歌声を披露

12月1日(日)、第30回記念遠野少年少女合唱隊発表会がみやもりホールで開催され、合唱隊員16人が元気の歌声を披露しました。今回の発表会は、ソプラノ歌手の千石史子さん、ピアニストの菅原紀子さんをゲストとして迎え、遠野のわらべうたにスポットを当てたプログラムを披露。わらべうたとクラシック音楽などを組み合わせた演奏に、来場者から大きな拍手が送られました。



①遠野の高校生を明るく出迎えてくれた桃園高級中学校(高校)の生徒ら ②スカイランタン作りでコミュニケーションを図った ③別れを惜しむ両校の生徒ら ④フィールドワークでは実際に現地の人に声をかけ、物産品のPRとアンケートの協力を求めた ⑤ネクストコモンズのビジネス研修では起業家育成プログラムを体験した

次世代を担う若者が、海外での異文化体験や教育、ビジネス交流を通じて国際的な視野を広げるとともに、将来の遠野や日本を担うグローバル人材の育成を目的に、当財団と遠野市等で組織する遠野市姉妹都市等交流事業実行委員会は、1月6日から10日までの4日間、市内の高校生8人(遠野高5人、遠野緑峰高3人)を台湾に派遣しました。

教育研修では、国立台湾大学や桃園高級中学校(高校)を訪問。同年代の生徒とコミュニケーションを取りながら交流を深めました。また、台湾を拠点にしている日系企業でビジネス研修も実施。ジャパンレールカフェやネクストコモンズの社員から、台湾での活動内容や外国で働くことの楽しさなどが語られ、派遣生は真剣な面持ちで聞き入っていました。

チャタヌーガ市への高校生派遣は隔年で実施していますが、他の地域への派遣は今回が初めて。台湾は、いわて花巻空港から定期便を就航させるなど、本県でも観光や物産品流通などの経済効果に期待しており、近年では多くの日系企業が進出しています。また、遠野出身の人類学者伊能嘉矩が生涯をかけ、人類学研究に徹した地域です。本市と深いつながりを持つ台湾で、派遣生は様々な刺激を受けてきた様子でした。

言語の違いは「壁」ではない

今回の台湾研修で学んだことは、言葉が分からなくても恥ずかしくないことです。台湾の人は、日本人だと分かると日本語を使い話してくれました。桃園高級中学校や、アンケート調査の時に上手く話せなかったため、これからは積極的に自分の意思表示をしていきたいです。今後、人と話す機会が増えていくと思うので、この経験を生かしてたくさんの人と話せるようになりたいです。



伊禮 優貴さん (遠野緑峰高2年)

経験を今後の人生に生かしたい

今回の台湾派遣は、言語や環境の違いに戸惑うこともありましたが、多くのことを学ぶ良い経験になりました。様々なプログラムを通じて、自分たちはどのように行動しコミュニケーションを取るかを考えながら、積極的に活動できたと思います。台湾で見たもの、聞いたもの、食べたものなどをたくさん記憶して、自分の進路や今後の生活につなげていきたいです。



菊池 妃奈さん (遠野高2年)

踏み出せ！ 新たな世界へ

約百年前、遠野が誇る民俗学の先駆者、伊能嘉矩(いのうかのり)が人類学研究に人生を懸けた台湾。時を越えて、この想いは高校生へ伝わり「交流」という形に変化した。ここに今「友情」という名の物語の1ページが刻まれた。

台湾で初の高校生海外派遣交流事業を実施

姉妹都市交流で活躍 フォルテさんの功績を讃える 教育文化特別賞

サルバトーレ・フォルテさんは、1984年8月サレルノ市の姉妹都市締結式に、同市議会議員兼姉妹都市友好委員会委員長として来遠して以来、35年間両市の姉妹都市交流の中心的な役割を果たしてきました。

また、遠野市職員のサレルノ市役所研修派遣や本市出身者の料理研修、スポーツ交流を行った際にも、全面的に協力していただき姉妹都市交流の発展に尽力されました。これらの功績を讃え、当財団から「教育文化特別賞」を贈呈しました。賞状は、昨年11月公式訪問団によりフォルテさんに直接届けられました。

なお、令和元年度遠野市教育文化振興財団顕賞式は、2月15日(土)午後2時からあえりあ遠野交流ホールで行います。

1938年生まれ。イタリア共和国下院議員、サレルノ市議会議員、サレルノ市副市長を歴任。2014年6月遠野名誉親善大使に就任。



サルバトーレ・フォルテさん



『遠野物語』発祥の地 遠野市土淵町が舞台

『遠野物語』発刊110周年記念イベント

第45回記念公演 市民の舞台 遠野物語ファンタジー

座敷わらしの白い花

2/22(土) 開場 17:30
開演 18:30

23(日) 開場 9:30 | 開場 13:30
開演 10:30 | 開演 14:30

遠野市民センター大ホール

■入場料

一般 1,300円 (当日 1,500円)
高校生以下 600円 (当日 800円)

■プレイガイド

とびあ、遠野風の丘、めがね橋直売所、みやもりホール、遠野市民センター、各地区センター、チケットぴあ (Pコード 499-061 TEL 0570-02-9999)

■無料託児開設 ※2月23日(日)のみ

乳幼児から就学前のお子様を安心してお預けいただけます。利用を希望される方は2月17日(月)までに連絡願います。

開設時間 / 午前9時～午後5時

場所 / 遠野市民センター3階和室

◆あらすじ◆

豪農・豊三郎^{とよきぶろう}は、村人に親切にしており、惜しげもなくその財を分け与える篤志家。

その家には座敷わらしが住むという。

しかし、豊三郎の家屋敷に入り込んだ悪心を持つ者により、その幸運は一夜にして一家滅亡の悲運へ転じる。

残された孫娘・なつと奉公人・良守^{よしもり}を引きとる真吉^{まきち}・正吉兄弟^{しょうきち}の葛藤。

座敷わらしは救いとなるのか…



Interview

遠野物語ファンタジーキャストに初挑戦するフレッシュな2人!

私は、お芝居を見るのがとても好きです。今回の遠野物語ファンタジーは、演出の新田光志^{みつし}さんに誘われて、演じるのも楽しいそうなので、「なつ」役で参加します。キャストをやってみて、自分以外の人を演じるのがとても面白いです。他の役者さんの演技が上手なので、いつもお手本にしています。キャストで大変なところは、遠野弁が難しくそれを覚えることです。一生懸命「なつ」を演じるので、皆さん見に来ててくださいね!



なつ役 **高橋 蒼^{あお}さん**
= 綾織小4年 =

脈々と受け継がれる長い歴史の中で、節目となる今作に参加させていただき光栄に思います。参加されている皆様一人一人の熱意に圧倒されながらも、自分も負けなような練習に励んでいます。様々な欲や思いを持った登場人物の中で、幼い2人を引き取るようになった兄弟の弟・正吉の迷いや葛藤、そして決意など心情の変化を伝えられるよう取り組んでいきたいと思います。あっと驚く演出にもご注目ください!ご来場お待ちしております。



正吉役 **藤原 卓人^{たくと}さん**
= 遠野市役所 (武蔵野市派遣) =